手紙

慶応三年五月中旬　寺田屋伊助あて

坂本龍馬

青空文庫

拝啓。
益御安泰奉大賀候。然ニ私儀此頃老主人よりよび帰しニ相成候て、国許へハ不帰、其まゝ長崎ニ於て、兼而召つれ候人数を御あづけ被申ことにて、私おして海援隊(カイエンタイチヨウ)長と申付、則長崎ニて一局を開キ諸生のセ話致し申候。此頃主人の用物を大坂ニ送り候道にて、備後箱の岬のおきニて紀州明光丸と申船が、私のの船の横に乗掛候て、不計も私しの船ハ沈没仕候間、是より又長崎の方へ帰り申候。此度の事ハ紀州ハ何故(ナニ)の勢にや、あまり無礼(ブレイ)なる事ニて私の人数及便船かりなど鞆の港にほりあげ、主人の急用ありとて長崎の方へ出帆仕候。船のものハ申ニ及バず便船かりも皆金も何も
（以下断欠）

伏見宝来橋京橋の回船宿

寺田屋伊助様

大浜濤次郎事
才谷梅太郎事
取巻抜六

御直披
遠目鏡一つ
添
時計　一面

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（京都府立総合資料館蔵　京都府京都文化博物館管理）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年7月28日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年五月中旬　寺田屋伊助あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/